



■ 今月のコロナは・・・

国内ではコロナ感染者が激減し、長く続いた緊急事態宣言も解除されました。

早速、居酒屋やスナックでは夜遅くまでの営業が解禁となり、テレビでは客がこの日を待っていたかのように飲み、歌い、大声で話をする様子が映し出されていました。

挙句の果てには酔って寝込んで終電間際の電車を乗り過ごし、家に帰るためにタクシーを探す様子など、かつての日常で起きていたことが蘇えてきたかのようです。

しかし、欧米ではワクチン接種が一定の割合で進んでいるにもかかわらず、またまた多くの感染者発生に手こずっているようです。国内においても、感染者数の激減理由について明確な説明ができていない状況下、ここで気を緩めてしまったらコロナはいつまた襲ってくるかわかりません。マスク・手洗いなど今までと変わらぬ日常を通してコロナ鎮圧を果たしたいところです。

私たちシニアクラブの総会を来年2月に予定しているのに、それが延期や中止とならないことを毎日祈願しています。

■ zoom 会合報告 <http://jvc-senior.com/20211026zoom.pdf> 参照

10月26日(火)に毎月定例の会合を開催しました。

すでにその報告はHPにアップされているのでご覧ください。

宮田さんの「歴史と天気の話」、浅見さんの「望郷ソングの系譜」と、それぞれパワーポイントにまとめて紹介されました。

島田さんから、今回も登山の写真が紹介されましたが、中に自撮り写真があり、背景の文字が左右逆になった鏡の映像でした。自撮り写真がすべて鏡の映像になってしまうのか、と思ったが、試してみて理解しました。シャッターではなく画像メモを押すとそのままの映像が記録されるということでした。試しに撮ったドアップの自分の顔を見て、自撮りはもうやらない・・・。



■ 高柳健次郎先生からの手紙

プロ野球で活躍した長嶋茂雄さんが今年の文化勲章受賞の決定を受け、「皆様のおかげ、何とも言えない気持ち」と喜びの言葉を語っていました。

高柳先生が文化勲章を受章されたのは昭和56年(1981年)11月のことです。

昭和62年に、水戸の磁気製品事業本部で制作・発売したビデオ「天皇裕仁」の中に先生が昭和天皇から勲章を親授された時の映像が含まれているとのこと、先生にそのビデオが贈られ、お礼として届いた手紙が右の写真です。



文面はぼかしていますが、拡大すれば封筒に書かれた先生自筆の署名は確認できます。

この手紙は当時の担当者がファイルして、大切に保存していたものです。勤務していた事業所がなくなり、その時に様々な資料が破棄されたことと思いますが、“捨てるに捨てられず”といったものも多かったのではないのでしょうか。30年以上も経て、この手紙は現在の「高柳健次郎財団」に届けられることになりました。皆様のお手元にもこのような貴重なものが残されていませんか。

■ 衆議院選挙 ⇒ 政権選択選挙

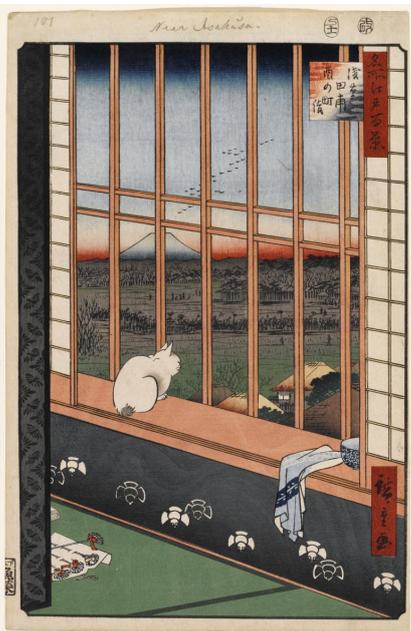
野党共闘で政権交代を訴えた第49回衆議院選挙が10月31日(日)に実施されました。

結果として、自民党大物議員が落選、という選挙区もあり共闘効果も一部にはありました。しかし、野党統一候補との激戦のために大幅に減るであろうという事前の予想に反し、与党は一定の当選者数を確保して、共闘を組んだ野党の目的達成は不十分ということになりました。

連合の新しい会長「芳野友子」さんは JAM 出身です。これからの労働運動の中心として大いに活躍を期待しています。その芳野会長は今回の野党共闘には疑義を示していました。政権を担うには、目指す社会のあり方など、事前に十分な話し合いと主義・主張の相互理解や一致が必要です。今回それが本当に行われていたのでしょうか。

いつまでも与党が変わらないということは、どうしても政策推進に“気の緩み・なしくずし”が出てきてしまいます。野党が「政権交代」を訴えるのは当然なことです。国民から信頼され支持される新たな共闘が求められるのでしょ。

■ 酉の市 今年は、一の酉11月9日(火)、二の酉21日(日)



左は広重の江戸百景「浅草田圃酉の町」。この猫は飼い主が接客中のため相手にされず、窓の外を眺めているところ。

その視線の先には、酉の市でにぎわう鷲神社へ参る人の列がある。

右図の赤丸には長コクジと書かれているがそこに鷲神社がある。(明治初年の神仏分離に伴い、鷲神社は長国寺から独立)

酉の市といえば「熊手」。右の写真は昨年の酉の市で買った小さな熊手です。

「家の西側高いところに飾っておけば財が貯まる」といわれて飾ったが、はて？この一年、どれだけ財が貯まったのかな。

小さな熊手じゃご利益は全くなかったようだ。



事務局長 田代 周